

あいさつ



愛知県知事
大村 秀章

あけましておめでとうございます。

昨年は、7月に「IGアリーナ」がついにグランドオープンしました。

また、「ジブリパーク」が開園から3年を、「STATION Ai」がグランドオープンから1周年

を迎えたほか、「TechGALA Japan 2025」、「愛・地球博20祭」、国際芸術祭「あいち2025」を開催するなど、国内外から多くの方が愛知を訪れ、賑わいと笑顔に溢れた1年となりました。

そして、今年は、9月に「第20回アジア競技大会」が、10月には「第5回アジアパラ競技大会」が、いよいよ開幕を迎えます。

県民の皆様と一緒に、両大会を大いに盛り上げ、

愛知を更に元気にしてまいりたいと思いますので、一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

2027年の「アジア開発銀行年次総会」、2028年の「技能五輪国際大会」など、今後もビッグプロジェクトが目白押しです。

これらのプロジェクトを着実に進め、ここ愛知から、日本の成長を牽引してまいります。

また、人口減少・少子化対策を始め、社会基盤整備や農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療・福祉、感染症対策、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上、次代の愛知を担う「人づくり」にも全力を注いでまいります。

引き続き、すべての人が輝き、未来へ輝く「進化する愛知」の実現に向け、全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。



愛知県議会議員
横井 五六

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は米国の通商政策等による経済の不透明感や物価上昇の継続など、企業や市民生活に大きな負担をもたらす1年となりました。

愛知県においては、物価高騰対策として事業者や市民の皆様の負担軽減につながる支援に取り組むとともに、国に対して米国関税措置への対策を要望してまいりました。

また、愛知の更なる成長・発展に繋がる「IGアリーナ」開業、「愛・地球博20祭」や国際芸術祭「あいち2025」の開催などに取り組んでまいりました。

本年は9月から、いよいよアジア・アジアパラ競技大会が開催されます。令和9年には中部国際空港代替滑走路の供用開始、令和10年には技能五輪国際

大会など、愛知を更なる飛躍に導く大規模プロジェクトが控えておりますので、成功に向けて全力を注いでまいります。

愛西市においては、昨年市制施行20周年を迎え、地域の特色を活かした数々のイベントや行事が市内各地で繰り広げられ、協働の輪が大きく広がる1年になったことと思います。次の10年がより良い未来への礎となるよう、防災、医療・福祉、農業振興、教育など、地域の課題解決に資する施策の推進に努力してまいります。

また、当地域の排水の要である日光川河口の排水機増設については、令和9年度までに新たな河川整備計画で具体化できるよう尽力するとともに、鉄道駅周辺の市街地整備や企業誘致の促進などは、県との連携が不可欠でありますので市の将来の飛躍に向けて全力で取り組んでまいります。

皆様方におかれましては、愛知のより良い未来づくりのために更なるお力添えを賜いますとともに、本年がより一層輝かしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。